

側道と南北を結ぶ生活道路の安全性を高める 交差点改良とボックス(穴門)改良

今回は、「加古川バイパスリニューアル・メニュー」(対策案)のうち、交差点改良及びボックス改良についてご紹介いたします。これらの対策案は、「加古川バイパスリニューアル検討委員会」(建設省・兵庫県・兵庫県警・加古川市)で素案として作成したものです。今後、地域の皆様や道路利用者等のご意見をいただきながら、計画をとりまとめ、工事実施に向けて取り組んでいきますので、ご理解とご協力をお願いします。

加古川バイパスには、本線の両サイドに側道があり、これに南北の道路が接続しています。
また、バイパスを横断し、南北の生活路を確保するため、38ヶ所のボックス(穴門)が設置されています。
こうした交差点やボックスの多くは、交通量の増加や自動車の大型化に対応できておらず、渋滞や事故が発生しています。
また、交差点からの渋滞は、南北道路だけでなく、側道や、本線にまで影響を及ぼしています。
交差点の通行をスムーズにするとともに、ボックス付近の安全性を向上させるため、下の図に示すボックスと交差点の改良が、必要と考えています。

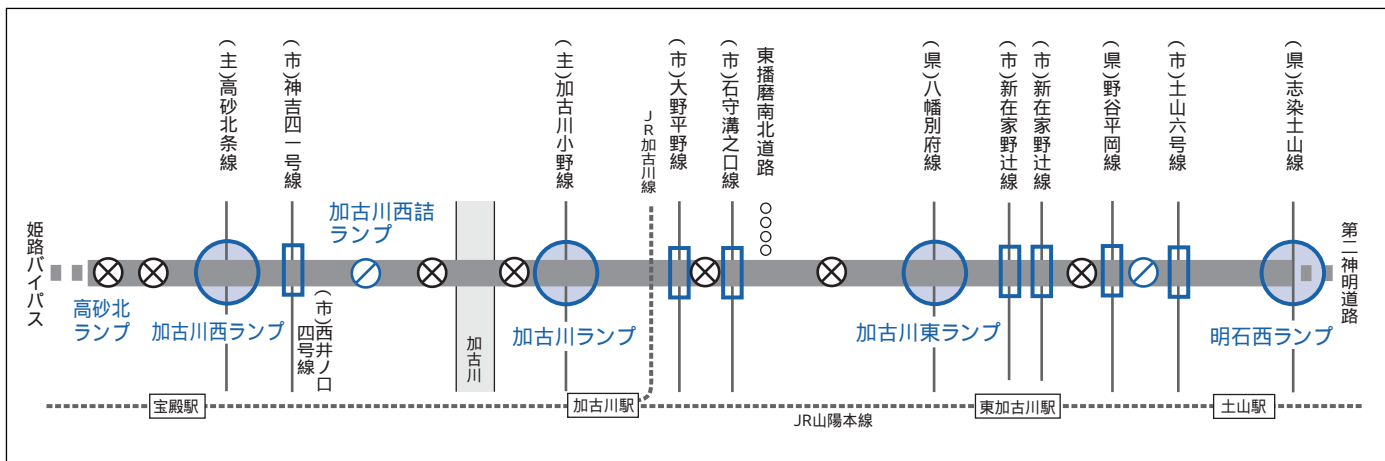


ボックスの現況



土山交差点(明石西ランプ)の現況

提案する交差点改良とボックス改良の概要



(上図は、改良を予定している箇所のみ表示しています。)

今回提案する対策案		記号	箇所数
ボックス改良 (計16箇所)	新設、拡幅等	□	7箇所
	自動車通行止	○	2箇所
	廃止	⊗	7箇所
交差点改良		○	4箇所

ボックス(穴門)の現状

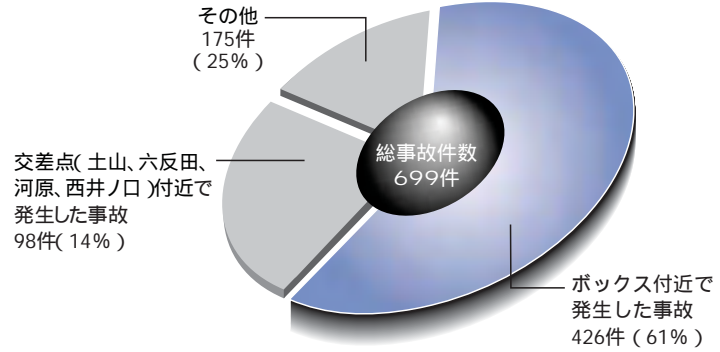
ボックス付近では、事故が多発

ボックスは、バイパスを横断し、南北を結ぶ重要な生活道路となっています。

しかし、ボックス出口は、近年の交通量の増加に伴い、側道からの交通との出合頭の事故が多く発生しています。昭和62年～平成7年間の9年間の側道における人身事故は、699件でした。このうちの約61% (426件) が、ボックス付近で起こっています。

さらに、9年間で9件以上の人身事故が発生しているボックスが、11箇所もあります。

側道での事故状況



昭和62年～平成7年度人身事故累計数

ボックス(穴門)の現状

多くのボックスは、高さと幅員が不十分

ボックスは、加古川バイパスの建設時に農耕車の通行を目的として造られたものが多いため、多くのボックスは、現在の自動車と歩行者等の混じった交通に対して、高さや幅員が不十分となってきました。

38箇所のボックスのうち、幅4.0m未満のものが18箇所(47%)もあり、そのうち、高さが2.5m未満のものが12箇所(32%)もあります。こうした狭いボックス内を、自動車・自転車・歩行者の交通が集中し、交通安全の観点から不安があります。

ボックス幅、高さ別箇所数

高さ \ 幅	2.5m未満	2.5～3.0m未満	3.0～4.0m未満	4.0～5.0m未満	5.0～6.0m未満	6.0～7.0m未満	7.0m以上
4.0～5.0m未満	—	—	2	4	3	5	2
3.0～4.0m未満	—	—	1	—	1	3	—
2.5～3.0m未満	—	—	3	—	—	—	—
2.0～2.5m未満	5	5	1	2	—	—	—
2.0m未満	—	1	—	—	—	—	—

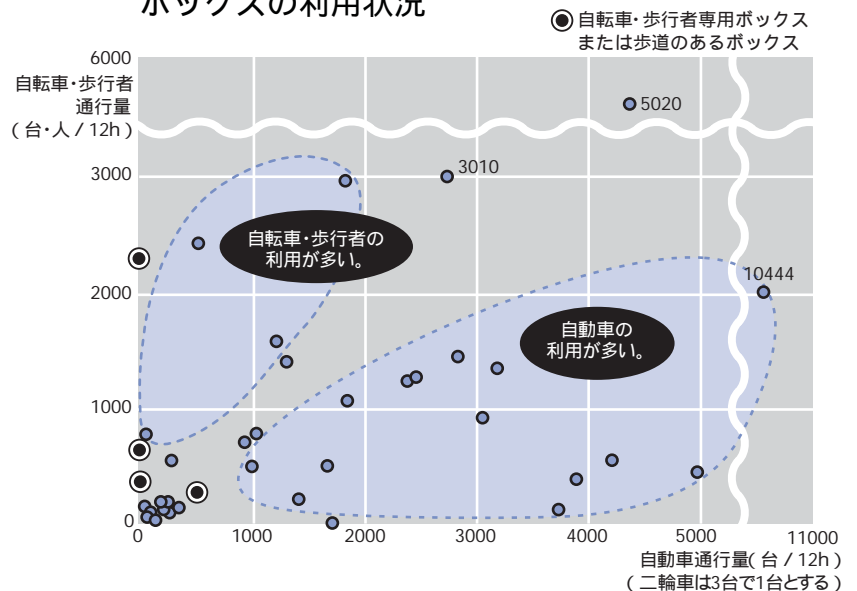
ボックス(穴門)の現状

利用形態に合った整備が必要

38箇所のボックスのうち、ほとんどが歩道なしのボックスであり、歩行者の安全が十分確保されていない状況です。

また、ボックス利用は、自転車・歩行者の利用が多いもの、自転車・歩行者と自動車の両方が利用されているもの、自動車の利用が多いもの等様々であり、それぞれの利用形態に合った整備が求められています。

ボックスの利用状況



交差点の現状

交差点付近で渋滞や事故が多く発生

バイパスと南北道路（県道）の交差点を起点に、渋滞が多く発生しています。

また、OFFランプと側道の合流部から交差点までの距離が短いため、交通が集中し、右折や左折のための車線変更がスムーズにできない状況です。

一方、交差点の右折の方法が外回り方式（改良イメージ図参照）となっていること等により、交差点の容量が不足し、渋滞がバイパス本線にまで伸びています。

さらに、南北道路側も渋滞が多く発生しています。

交差点の渋滞状況

土山交差点（明石西ランプ）

平成10年1月21日（午前6：30～9：30）の調査による。



六反田交差点（加古川東ランプ）

平成10年1月27日（午前6：30～9：30）の調査による。



河原交差点（加古川ランプ）

平成10年2月3日（午前6：30～9：30）の調査による。



西井ノ口交差点（加古川西ランプ）

平成10年1月29日（午前6：30～9：30）の調査による。



ボックス(穴門)改良

自転車・歩行者と自動車の分離等により安全性を向上します

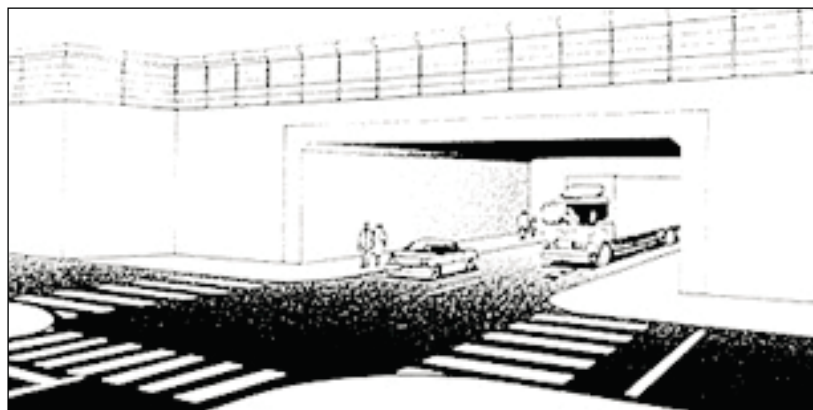
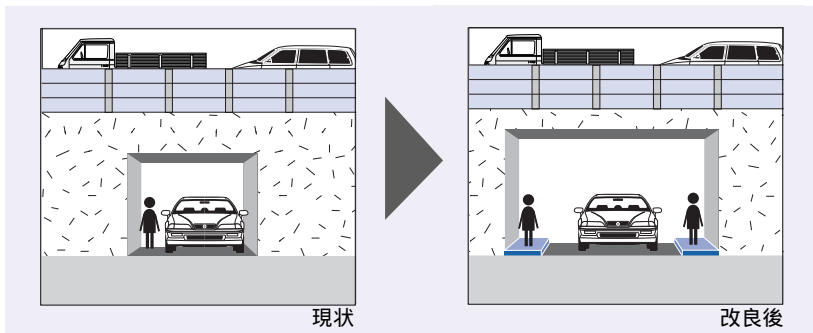
(1) 自転車・歩行者と自動車の通行を分離ボックスを拡幅し、歩道を設けたり、自転車・歩行者専用ボックスの新設を行うとともに、自動車用ボックスの十分な高さで幅員の確保も考えています。

また、利用形態により、自動車の通行を一方通行に規制すること等も検討していきます。

(2) ボックスの整理統合

自動車交通量の少ないボックスについては、自転車・歩行者専用ボックスに変更したり、自転車・歩行者の利用者も少なく、近くに他のボックスがあるようなボックスについては、廃止することも含めて検討していきたいと考えています。

改良イメージ



ボックス改良イメージ図

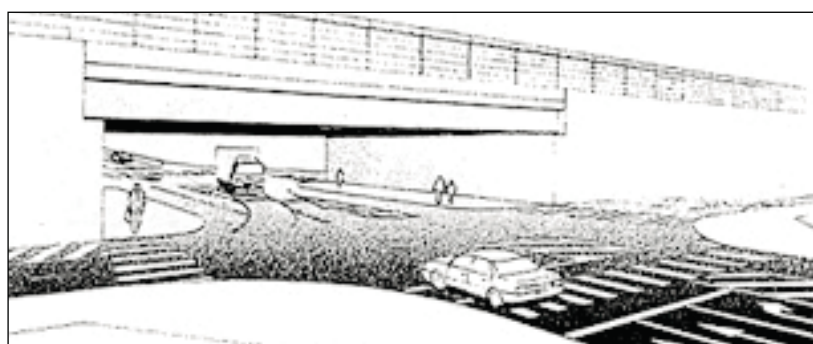
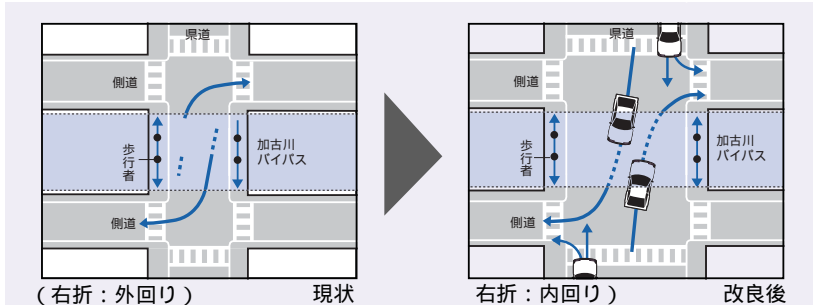
交差点改良

交差点の通行をスムーズにし、側道と南北道路の渋滞も緩和します

右折の方法を内回り方式に変更するため、交差点を拡幅します。

また、南北道路についても、右折車線等を改良し、交通の安全・円滑化を図りたいと考えています。

改良イメージ



交差点改良イメージ図

皆様からの意見、感想をお待ちしています。

今後の加古川バイパスリニューアル計画の策定の参考にさせていただきますので、ご意見や感想を右記へお寄せください。送付方法は、郵送の他、ファクシミリ、インターネットでも結構です。ご協力よろしく申し上げます。

加古川市 土木部 道路建設課

〒675-8501 加古川市加古川町北在家23-1 TEL.0794-24-1151 FAX.0794-24-1374

E-mail: dob-kensetsu@city.kakogawa.hyogo.jp

建設省 姫路工事事務所 調査第一課

〒670-0947 姫路市北条1丁目250 TEL.0792-82-8211 FAX.0792-22-5843